



てき丸君News 第66号

発行：公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811

FAX 03-3224-0820

https://www.zensanpairen.or.jp

第46回理事会を開催

当連合会の第46回理事会を10月8日に開催しました。

今回の理事会では、①委員会、部会運営委員会委員の選任について、②賛助会員の入会承認について、③令和2年度「第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会」について、④令和2年度全国正会員会長・理事長会議の開催について、の4つの議案を審議しました。

議案のうち、第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会については、来年11月27日に東京都（TKPガーデンシティ品川）で開催することが決まりました。また、全国正会員会長・理事長会議は、令和3年2月に徳島県（JRホテルクレメント徳島）での開催が承認されました。（総務部・古川）

連合会より

●災害廃棄物委員会●

災害廃棄物委員会は、10月7日に第2回会合を開催しました。この第2回から第4回までの3回で被災地協会からの事例報告・意見交換を行うこととしており、今回は北海道、福島県及び大阪府の各協会からの事例発表と意見交換を行いました。（総務部・中込）

●建設汚泥分科会●

令和元年度第1回建設汚泥分科会を10月9日に開催しました。建設廃棄物部会では、建設汚泥再生品のリサイクルを促進するために、昨年度、「リサイクル製品評価のための自主基準」及び「建設汚泥リサイクル製品事例集」を改訂しました。建設汚泥分科会では、建設汚泥のリサイクルの推進に向けたこれらの活動を、行政や建設業界などに周知し、協力関係を構築するための方策について検討しました。今後、分科会員がそれぞれ分担して説明し、理解を求めていくことを決定しました。（調査部・香川）

●埋立処分委託契約書・最終処分場維持管理マニュアル説明会を開催●

標題の説明会を10月11日に東京会場で、10月23日に札幌会場で開催しました。説明会では、まず「産業廃棄物埋立処分委託契約書の手引」について、最終処分部会の杉田部会長から作成の趣旨の説明をした後、事務局が概要を説明しました。

午後は最終処分場維持管理マニュアル監修委員会でご指導いただいた先生から基調講演がありました。続いて最終処分部会運営委員がマニュアル改訂の趣旨を説明し、改定案作成ワーキンググループのメンバーよりマニュアルの概要の説明を行いました。

東京会場の基調講演では東京工業大学の高橋史武准教授より「廃棄物最終処分場に対する社会心理学的評価-嫌悪感という視点-」と題し、また、札幌会場では室蘭工業大学の吉田英樹准教授より、「最終処分場の適切な維持管理-廃止基準での埋立ガス-」と題し、それぞれ講演いただきました。

説明会は引き続き、下表のとおり3都市で開催を予定しております。いずれの会場も申し込みが可能です。

詳細は連合会HP（<https://www.zensanpairen.or.jp/application/seminar/>）をご確認ください。

（調査部・東）

開催地	開催日	会場	定員
仙台会場	11月29日(金)	宮城県建設産業会館	60名
岡山会場	12月11日(水)	第一セントラルビル1号館	60名
熊本会場	2月5日(水)	熊本ホテルキャッスル	60名

協会便り

●香川県協会「産業廃棄物処理実務者講習会」を開催●

一般社団法人香川県産業廃棄物協会は、高松市内の高松センタービル会議室において、10月7日に「産業廃棄物処理実務者講習会」を開催いたしました。

当協会は公益目的事業として、これまで毎年、実務者講習会を開催してまいりましたが、今回の講習会では産業廃棄物を取り扱う方々が日々の業務に必要な「委託契約書」や「マニフェスト」等の取扱いについて具体的な講義を株式会社シューファルシ代表取締役・武本かや氏を講師にお招きし実施いたしました。

当日は、会場定員いっぱいの94名の方々（うち行政担当者が11名）が参加され受講者のみなさんの関心の深さが感じられました。今回の講習会では実際に「マニフェスト」に記載するワークもあり、講義で学んだ内容を実践で確認することができました。

講義の最後に講師から全産連のeラーニング講座や産業廃棄物処理検定の紹介もあり、受講者からは、排出者、処理業者双方の観点で説明され、ワークも含めて実務を踏まえた内容で役立ち、大変有意義でしたとのアンケート回答結果でした。当協会では今後も、このような実務に即した講習会を開催してまいります。



（一般社団法人香川県産業廃棄物協会）

●兵庫県協会「ビジネススキルアップ研修」を開催●



一般社団法人兵庫県産業資源循環協会は、10月24日に「ビジネススキルアップ研修」を開催しました。この研修会は、廃棄物処理業界の人材力の底上げやイメージアップを目的として、新入社員や営業社員を対象としております。講師は、当協会青年部統括幹事で株式会社シューファルシ代表取締役の武本かや氏に務めていただきました。

内容は、1グループ5人で組み、まず、廃棄物処理業界で求められる人物像についての説明、社会人として必要な力である社会人基礎力ワークが行われました。それから、ビジネスマナー5原則（挨拶、表情、態度、身だしなみ、言葉遣い）やお辞儀、名刺交換、敬語、電話対応、ビジネス文書のルールなどのビジネスマナーの基本、報連相などのビジネスコミュニケーション、そして、機密情報の漏洩防止や優良事業者認定に係る情報発信などの情報管理について、廃棄物処理業の日常業務での事例を織り交ぜながら、講義とワークが進められました。

受講者のアンケートでは、「言葉遣いなど今まで教えてもらったことがないことが勉強になった。（事務）」、「基本的なことだけでなく、分かりやすい事例があり、理解しやすかった。（営業）」という感想でした。

この研修会以外にも、当協会では、産業廃棄物処理業者と産業廃棄物に関わる排出事業者を対象として兵庫県下6カ所で開催する「産業廃棄物の適正処理に係る研修会」、実務担当者向けの「産業廃棄物処理実務者研修会」、初めて産業廃棄物に関わる方向けの「新人・新任担当者研修会」などの各種研修会を開催して、産業廃棄物に関わる事業者が廃棄物関連法令や知識を習得し、技術を向上するよう取り組んでいます。

（一般社団法人兵庫県産業資源循環協会）



令和元年度全国正会員事業研修を開催

当連合会では、連合会及び正会員の事務局担当者の知識向上と情報交換などを目的として毎年全国正会員事業研修会を行っています。

今年度は、10月25日に当連合会会議室において開催しました。研修は、働き方改革及び連合会の事業活動をテーマに行われ、35名の正会員職員が参加しました。

働き方改革については、東京働き方改革推進支援センターより徳留正一郎氏（特定社会保険労務士）をお招きし、働き方改革の概要を、連合会の事業活動については、議連PT関連、外国人技能実習制度導入の進捗状況等、連合会の取り組みに関する研修を行いました。



（総務部・富樫）

●INDUST 11月号特集「サーマルリサイクルの意義」●

焼却による発電や余熱利用といった熱回収は、廃棄物の中間処理において優先順位が低く、2030年度の温室効果ガス削減目標が2013年度比で26%削減する設定がされて以降、廃棄物処理はさらなる低炭素化が求められています。

しかし、適正処理の面からも焼却処理は必要であり、焼却する際は熱回収することが不可欠になってきています。一方、廃プラスチックの国内循環に向けて産業廃棄物処理・資源循環事業者の役割がますます強くなっています。当面、廃プラスチックはマテリアルリサイクルが優先に進められますが、民間の処理施設の整備は追いついていない状況です。

この状況を受け、5月20日に環境省が都道府県等に一般廃棄物処理施設の活用を促す通知をしています。廃プラスチックの処理を円滑に進めるには熱回収設備を充実させることも考えなければならないでしょう。11月号では、サーマルリサイクルの意義をテーマにエネルギー回収を中心とした熱回収の役割や、コスト削減などの効果の面を解説するとともに、産業廃棄物処理事業者が取り組む事例と、環境省が進める廃棄物熱回収設置認定制度について紹介します。

（事業部・東方）

- 主な行事予定 - (11月21日～12月18日)

【11月】

- 21日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー
（営業・東京）
- 22日 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー
（現業管理・東京）
関東地域協議会（茨城）
- 29日 埋立処分委託契約書・維持管理マニュアル説明会
（宮城）

【12月】

- 3日 青年部協議会幹事会
- 9日 マニフェスト推進委員会
- 13日 建設汚泥再生品等の利用促進に関する検討会
- 11日 埋立処分委託契約書・維持管理マニュアル説明会
（岡山）
- 17日 中間処理部会運営委員会
- 18日 安全衛生委員会



産業・資源循環議員連盟「意見交換会」を開催



産業・資源循環議員連盟の意見交換会が衆議院第一議員会館会議室において、10月8日に開催されました。

今回の意見交換会は、令和2年度税制等改正に係る産業廃棄物業界からの要望並びに去る4月に産業・資源循環議員連盟の田中会長から原田環境大臣及び石井国土交通大臣に対して産業廃棄物処理業に関わる提言がされましたが、環境省・国土交通省及び全国産業資源循環連合会のその後の取り組みや進捗状況について意見交換が行われました。

開会にあたり、第4次安倍改造内閣において復興大臣に就任された田中会長は、「我々議員連盟は、皆様の要望や意見をしっかりと受け止めて、安心できる社会を目指していきたい。」と挨拶されました。続いて、当連合会の永井会長が挨拶の後、田中議員連盟会長に「令和2年度税制改正に関する要望書」を手渡しました。

次に、「令和2年度税制改正に関する要望」内容について、全産連の森谷専務理事が説明し、連合会最終処分会場の杉田部会長が最重点の要望事項である「産業廃棄物最終処分場に係る特定災害防止準備金の措置の延長」の重要性を訴えました。これに対し、環境省の成田廃棄物規制課長より「本要望については、環境省としても重要な事項であり、連合会と連携して実現に向け取り組んでいく。」と発言されました。

また、議員連盟PT 報告書（産業廃棄物処理業に関わる提言）のフォローアップ状況として、①「業務主任者」の資格付与のための試験及び講習等に関する試行、②建設汚泥再生品等の利用促進に関する検討会、③産廃処理業における外国人技能実習制度の導入、の各取り組みの進捗状況について森谷専務理事より報告しました。

報告後、環境省の成田廃棄物規制課長より「①、②については検討委員会に参加して、取り組んでいく。③については全産連の準備が整いし、環境省として実現に向けバックアップしていく。」との発言がありました。国土交通省の八尾インフラ情報・環境企画室長も、「②については検討委員会に参加して取り組んでいく。」と発言されました。

議員連盟の井上PT座長が、「環境省、国土交通省も、全産連の取り組みを支援していただきたい。また、引き続き進捗状況を議員連盟に報告いただき、対応をしていきたいと考えている。」と述べました。

最後に、議員連盟渡辺会長代行から「税制改正に関する要望、災害を考えれば最終処分場の存続は不可欠であり、人材の育成・確保もこれからの事業に重要なことである。議員連盟としてしっかりと対応していきたい。」との閉会のご挨拶がありました。（政治連盟・土井）

産業・資源循環議員連盟意見交換会出席者（敬称略・順不同）

＜産業・資源循環議員連盟出席議員＞（15名）

○衆議院議員：逢沢一郎(岡山)、田中和徳(神奈川)、渡辺博道(千葉)、望月義雄(静岡)、井上信治(東京)、あかま二郎(神奈川)、小倉将信(東京)、とかしきなおみ(大阪)、小田原潔(東京)、工藤彰三(愛知)、堀内詔子(山梨)、福田達夫(群馬)、大隈和英(大阪)、

○参議院議員：片山さつき(比例全国区)、中西祐介(徳島高知)

○環境省環境再生・資源循環局：廃棄物規制課長 成田浩司

○国土交通省：公共事業企画調整課インフラ情報・環境企画室長 八尾光洋

＜全国産業資源循環連合会・同政治連盟＞（18名）

○全国産業資源循環連合会：会長 永井良一（愛知県産業廃棄物協会会長）、専務理事 森谷賢

○全国産業資源循環連合会政治連盟：理事長 國中賢吉、岡山県資源循環政治連盟理事長 藏本忠男、広島県資源循環政治連盟理事長 川本義勝

○都道府県協会：宮城県産業資源循環協会会長 鈴木 昇、福島県産業資源循環協会会長 佐藤俊彦、群馬県環境資源創生協会会長 城田裕司、千葉県産業資源循環協会会長 杉田昭義、東京都産業資源循環協会会長 高橋俊美、埼玉県環境産業振興協会会長 小林増雄、神奈川県産業資源循環協会会長 藤枝慎治、岐阜県産業環境保全協会理事長 粥川長司、和歌山県産業資源循環協会会長 武田全弘、鳥取県産業資源循環協会会長 越生昭徳、香川県産業廃棄物協会会長 松本英高、佐賀県産業資源循環協会会長 篠原隆博、熊本県産業資源循環協会会長 大野羊逸

全国産業資源循環連合会政治連盟第50回理事会を開催

全国産業資源循環連合会政治連盟は、第50回理事会を10月8日に全国産業資源循環連合会会議室で開催しました。

國中政治連盟理事長より「本日は4つの議題を審議していただく。特に令和2年度税制等改正に関する要望について議論いただき、本日の夕刻の産業・資源循環議員連盟との意見交換においても最重点の要望事項として提案したいと考えている。」と挨拶しました。

続いて、永井連合会会長より「政治連盟におかれては、これから我々が目指す産業廃棄物処理産業の振興法案の法制化を連合会とともに取り組んでいくことが重要である。そのためには、産業・資源循環議員連盟と連携を密にして、法制化を実現する活動を行っていかなければならない。」と挨拶されました。

議題は次の通りです。

- (1) 第25回参議院議員通常選挙結果報告
産業・資源循環議員連盟所属立候補議員：選挙区9名(当選6名)比例5名(当選4名)
- (2) 令和2年度税制等政策に関する要望について
 - ・要望事項1：産業廃棄物最終処分場に係る特定災害防止準備金の措置の延長
 - ・要望事項2：PCB 廃棄物等処理施設及び石綿含有産業廃棄物等処理施設に係る税制優遇措置の延長
 - ・要望事項3：地球温暖化対策税の着実な実施及び活用
- (3) 議連PT報告書の取り組み状況について
 - ・業務主任者試験等試行等
 - ・建設汚泥再生品等利用促進
 - ・技能実習生
- (4) 廃プラスチック処理について
 - ・廃プラスチック処理状況調査結果について
 - ・廃プラスチック類に係る処理の円滑化等について(環境省通知)
 - ・廃プラスチック類の保管量の上限を緩和する廃掃法施行規則の一部改正する省令

(政治連盟・土井)



新入社員や、熟練者でも再度一から学び直そう
とお考えの方に最適です！

産業廃棄物処理 eラーニング講座

本講座の特長

- 受講はご自身のパソコンで行います。インターネット環境があれば、学習期間中にいつでも、どこでも自分のペースで受講可能です。
- 本eラーニング講座は、パソコンから映像を視聴いただく講義、理解度テスト、その後じっくり学習するためのテキスト教材(画面表示のみ)で構成しています。教材を印刷することはできません。
- 理解度テストは、正解するまで繰り返し出題されますので、より理解を深めます。
- 各講座の受講が修了すると、修了証を画面表示します。



令和元年度 後期 開催案内!

後援：
環境省

(申込受付開始：9月20日～)

【学習期間(1ヶ月間)】：1)10月15日～11月14日、2)11月15日～12月14日
右の4つより選択 3)12月15日～1月14日、4)1月15日～2月14日

【講座名・学習内容】

業態に合わせ4講座を用意、講義内容は2018年度と同一

- ①廃棄物処理法基礎 (廃棄物の種類、委託契約、マニフェスト、保管基準、処理基準等)
- ②収集運搬現場業務 (収集運搬に係る法令等、安全衛生、作業工程管理、留意点等)
- ③中間処理現場業務 (中間処理に係る法令等、安全衛生、作業工程管理、留意点等)
- ④最終処分現場業務 (最終処分に係る法令等、安全衛生、作業工程管理、留意点等)

受講料：1講座 4,400円 (税込、通信費等は利用者負担)

お申し込み方法

専用ポータルサイトにて受付。詳しい情報は、こちらのサイトより

産廃 人材育成

検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>



【お問合せ先】



公益社団法人

全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17
第2ABビル4階

eラーニング担当

TEL: 03-3224-0811

<https://www.zensanpairen.or.jp>

- 営業時間 / 月～金 9:00～17:00
- 定休日 / 土日・祝日

2019.08

スキルアップを考えている方に必須の試験です！

(公社) 全国産業資源循環連合会

産業廃棄物処理検定

(廃棄物処理法基礎)



こんな人のニーズにおすすめです

- 人事・管理部門
現場の担当者が業務に必要な知識を身に付けているか、定量的に把握したい方。従業員の人材育成にご活用ください。
- 廃棄物処理担当
廃棄物を処理する上で、実務に必要な正しい知識が身に付いているかを確認したい方。

この検定に合格すると...

- 合格証明書カードが交付されます。
- きちんとした知識を備えた人材であることの証明になります。
- お客様やクライアントからの要望に対して、より効果的で適確な提案をすることができます。

【試験日時】 令和2年2月16日(日) 10時～11時30分

受験料: 6,500円(税抜)

【受付期間】 令和元年12月4日～令和2年1月17日 (ただし定員になり次第、受付を締め切ります)

【申込方法】 専用ポータルサイトにて申込受付 詳細は連合会ホームページにてご案内いたします

【試験形態】 マークシート方式による筆記試験

【試験範囲】 廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿、保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>

産廃 人材育成 検索

【試験会場(予定)】 全国13会場で同時開催 最寄りの会場をご利用ください

開催場所(定員) 会場名	福島県(150名) コラッセふくしま	茨城県(100名) 茨城県開発公社ビル	栃木県(100名) 関東職業能力開発 大学校
埼玉県(70名) TKP大宮駅西口 カンファレンスセンター	東京都(180名) TKP市ヶ谷 カンファレンスセンター	神奈川県(120名) 神奈川県労働プラザ	新潟県(100名) 新潟県建設会館
長野県(70名) 長野バスターミナル会館	静岡県(100名) 静岡商工会議所	愛知県(150名) 名古屋国際会議場	大阪府(80名) 大阪私学会館
広島県(100名) 広島工業大学専門学校	熊本県(120名) ユースピア熊本		

共催:

一般社団法人福島県産業資源循環協会
一般社団法人茨城県産業資源循環協会
公益社団法人栃木県産業資源循環協会
一般社団法人埼玉県環境産業振興協会

公益社団法人神奈川県産業資源循環協会
一般社団法人新潟県産業資源循環協会
一般社団法人長野県資源循環保全協会
公益社団法人静岡県産業廃棄物協会

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会
公益社団法人大阪府産業資源循環協会
一般社団法人広島県資源循環協会
一般社団法人熊本県産業資源循環協会

【お問合せ先】

公益社団法人
全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4階

検定試験担当

TEL: 03-3224-0811 FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

● 営業時間 / 月～金 9:00～17:00

● 定休日 / 土日・祝日

2019.06